

令和5年度原子力環境センターバックヤードツアーについて

原子力環境センターでは、安全協定及び安全確認協定に基づく環境モニタリングや原子力防災対策等の事業を実施した結果を公表し、原子力に関する正しい知識の広報活動を実施してきました。

その一環として今年度は、小学生高学年を対象に、センターの業務に触れることにより、放射線の理解推進を目的として、原子力環境センターバックヤードツアーを開催しました。

放射線に関する正しい知識や正確な情報を分かりやすく地域住民に対し提供するため、今後も継続的に広報活動を実施していきます。

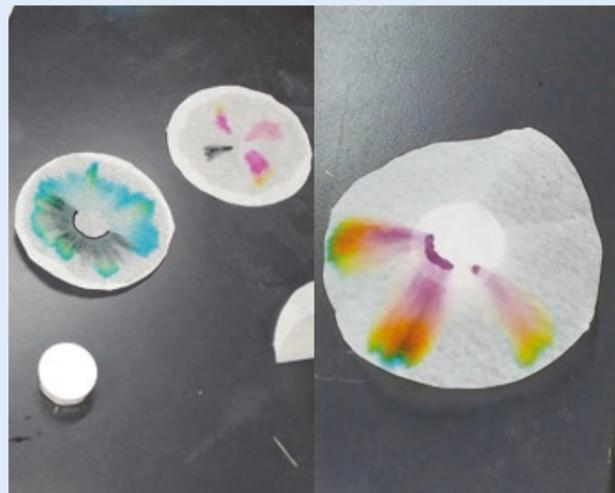
【開催概要】

- 1 日時／令和5年(2023年)8月8日(火)10:00~11:45
- 2 場所／北海道原子力環境センター
- 3 参加者／児童:3名、保護者:1名
- 4 内容／ペーパークロマトグラフィ実験、バックヤード見学、ラジプローブ体験、クイズ大会

ペーパークロマトグラフィ実験の様子

子どもたちに実験を通して科学の面白さを体験してもらい、科学への興味をいっしょに育てることを目指してペーパークロマトグラフィ実験を実施しました。

ペーパークロマトグラフィ実験は、みんな楽しそうに作業していました。様々な色の分離を行いました。



バックヤード見学の様子

原子力環境センターのお仕事を子どもたちに知ってもらうため、普段は見学できない放射線分析装置などを設置している計測室を見学し、実際に測定の体験をしました。

実際に空気中の放射線を測定し、普段私たちの身の回りにも放射線が存在していることがわかりました。



ラジプローブ体験の様子

ラジプローブ体験ではラジプローブと呼ばれる放射線測定装置を使って、庁舎周辺の放射線を測定しました。スマートフォンと連携しているため、測定の軌跡を自分の目で確認しました。

ハート形や星形など様々な形の軌跡を作りました。



クイズ大会の様子

今回のバックヤードツアーで学んだ科学実験などに関する知識や原子力環境センターのお仕事を再確認するために、本ツアーで学んだ内容を中心としたクイズ大会を開催しました。

—参加者の声—

- 話を聞く、施設を見学するだけでなく様々な体験ができて楽しかった。
- また参加しているいろいろな体験をしてみたい。

